

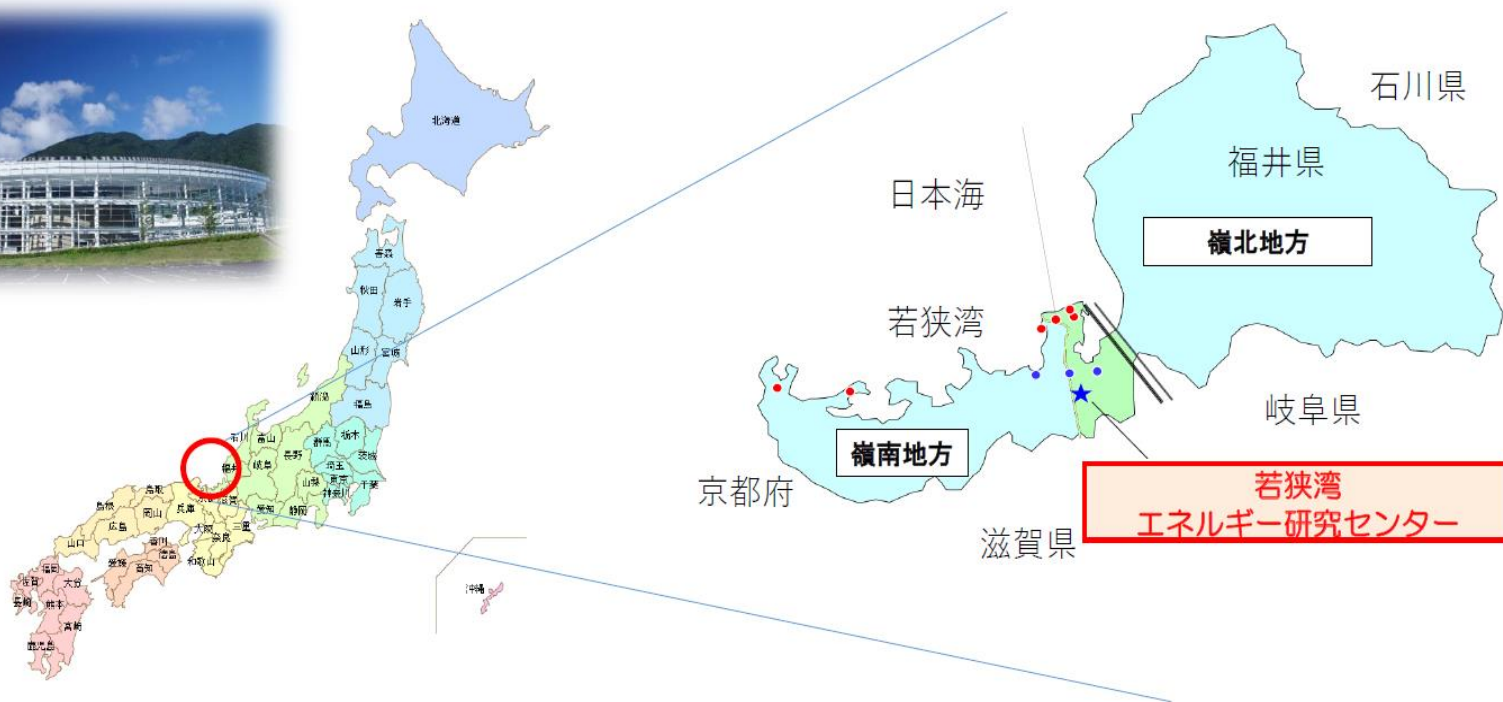
若狭湾エネルギー研究センター 新技術・新製品開発支援制度等の説明

【令和4年度申請向け】

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
産業育成部

(公財)若狭湾エネルギー研究センターの施設紹介

- ・若狭湾エネルギー研究センター(通称:エネ研)は福井県敦賀市に立地
⇒北陸自動車道、舞鶴・若狭自動車道の整備により、関西・中京圏からのアクセスが便利



(公財)若狭湾エネルギー研究センターの事業概要

1. 研究開発

① 加速器[高エネルギーイオンビーム]利用研究

- 粒子線がん治療
- イオンビーム育種
- 材料改質・分析
- 放射線耐性研究[原子力・宇宙材料]

② エネルギー開発研究

- レーザー利用技術開発
- エネルギー有効利用研究
- 原子力関連先端技術開発

2. 産業支援

① 技術・研究支援

- 技術支援
- 研究者・技術者との交流
- 公募型研究資金による研究開発

② 新事業創出・育成支援

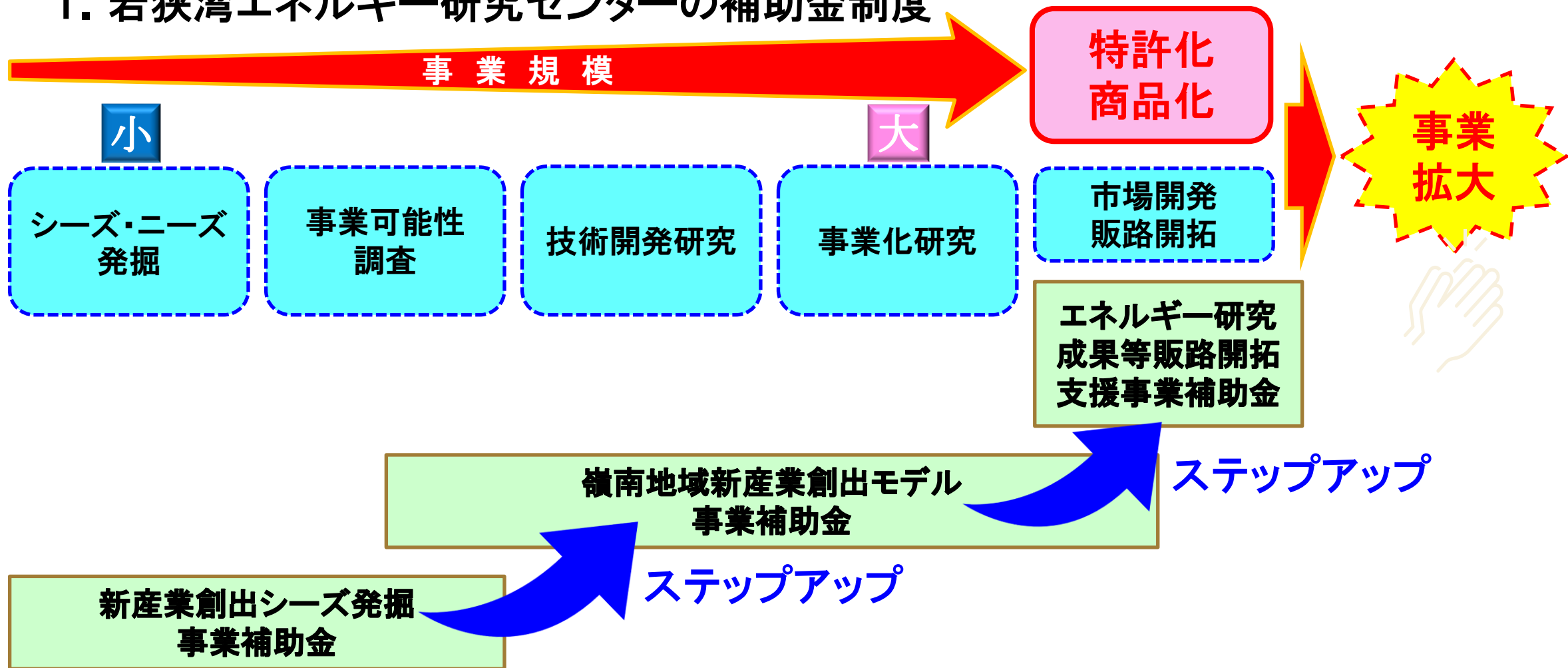
- 新事業創出支援(今回説明する補助金制度)
- 科学技術支援[科学機器利用・技術相談]

3. 原子力人材育成[福井県国際原子力人材育成センター]

国内外の原子力人材育成

補助金による県内企業の新技術・新製品の開発支援

1. 若狭湾エネルギー研究センターの補助金制度



2. 各補助金制度の概要(その1)

(1)新産業創出シーズ発掘事業補助金	
対象分野	①原子力・エネルギー分野（廃止措置関連含む） ②地域産業活性化分野（農林水産物、鉱工業品等の地域資源活用関連） ③環境分野（温暖化ガスの削減、廃棄物の低減・リサイクル推進、環境保全関連） ④植物工場・施設園芸分野（新品種の開発、センシング機器や収穫ロボット等に係る技術） ⑤防災分野（熱中症対策、自然災害の予兆を監視する技術や避難所で役立つグッズの開発）
対象事業	上記5分野の新技术・新製品開発に向けたシーズ・ニーズ等調査、簡易な試作実験等
対象者	①県内に事業所を有する企業 ②上記①を含むグループ
補助限度額	1件あたり100万円
補助率	2分の1以内（嶺南企業は3分の2以内）
補助対象経費	消耗品費、外注費、調査費、旅費、謝金 等
募集時期	随時募集
補助事業の実施期間	交付決定日から1年以内

新産業創出シーズ発掘事業補助金による成果事例

○原子力・エネルギー分野

放射線照射技術を活用した新規木材の開発に向けた研究



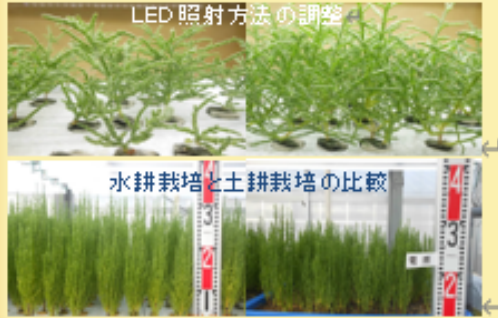
越前筆筒に使われる桐の板に様々な樹脂を含浸させ、ガンマ線を照射することで、表面硬度と強度が向上する技術を開発しました。

この素材を使ったキャリーバッグは、機内持ち込みができる程軽量化されたほか、優れたデザインにより、野点セットの収納用などにも利用されています。

（株）コスモタウン【越前市】（H27.28新シーズ発掘）

○植物工場・施設園芸分野

シーアスパラガスの専用 LED 栽培設備による周年栽培新技術の開発



水耕養液内の窒素、カルシウムの濃度や、LEDの照射方法を調整し、シーアスパラガスの開花を抑制することで、周年栽培できる技術をエネ研の研究者と共同で開発しました。

β-カロテン等の含有量も土耕栽培と大差なくシーアスパラガスの安定調達が期待されます。（福井シード㈱【福井市】（H28.29新シーズ発掘）

○地域産業活性化分野

県産品の素材を生かした新商品「若狭高浜クラフトビール」の研究開発



BLUE BEACH BEER 杜仲茶

高浜町の名産品である杜仲茶を使用した「BLUE BEACH BEER」、トマトを使用した「BLUE BEACH BEER Sunset」の2種類のクラフトビールを開発しました。

地域産品として UMIKARA 等で販売 PR を行っています。

サニーマート㈱【高浜町】（R2.3 新シーズ発掘）

○環境分野

PE 袋による飲料カップ用テイクアウトバッグの開発



シール圧着やアジャスト機能を付与することにより、コーヒーカップやおでんなどあらゆる商品に対応できるPE袋(レジ袋)を開発しました。

手提げとカップを支える機能を一体化させることで、レジ対応の短縮や省スペース化、ごみの減量化を実現しました。

㈱ミヤゲン【敦賀市】（H27.28 新シーズ発掘）

2. 各補助金制度の概要(その2)

(2)嶺南地域新産業創出モデル事業補助金	
対象分野	<ul style="list-style-type: none"> ①原子力・エネルギー分野（廃止措置関連含む） ②地域産業活性化分野（農林水産物、鉱工業品等の地域資源活用関連） ③環境分野（温暖化ガスの削減、廃棄物の低減・リサイクル推進、環境保全関連） ④植物工場・施設園芸分野（新品種の開発、センシング機器や収穫ロボット等に係る技術） ⑤防災分野（熱中症対策、自然災害の予兆を監視する技術や避難所で役立つグッズの開発）
対象事業	<p>上記5分野の新技术・新製品開発に向けた <u>調査、基礎的な実験(基礎研究枠)</u> <u>試作品等の開発、販路開発(実用化研究枠)</u></p>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ①嶺南地域に事業所を有する企業 ②上記①を含むグループ
補助限度額	<p>【基礎研究枠】 1件あたり200万円 【実用化研究枠】 1件あたり600万円</p>
補助率	3分の2以内
補助対象経費	消耗品費、原材料費、機械装置費、外注加工費、特許取得費、共同研究費、調査費(基礎研究枠のみ)、販路開拓費(実用化研究枠のみ) 等
募集時期	毎年4月上旬頃(予定)
補助事業の実施期間	<p>【基礎研究枠】 交付決定日から当該年度の2月末まで 【実用化研究枠】 同一テーマで最長3年まで補助(ただし審査は毎年度実施)</p>

嶺南地域新産業創出モデル事業補助金による成果事例

○原子力・エネルギー分野

避難弱者用放射線遮蔽服等の開発



原子力災害時の避難弱者(子供、高齢者、入院患者等)の放射線被ばく量を低減させるため、放射線遮蔽能力の高いタンブステンや特殊樹脂を使って柔軟で軽量の遮蔽服を開発しました。←
 今後は遮蔽服の認知度を高めるため学校や病院などへPRしていきます。←

■NUCLEAR TECHNOLOGY[美浜町] ←
 (H27.28モデル事業) ←

○植物工場・施設園芸分野

キチン質等成長促進剤を用いた地産苔の短期収穫サイクル技術の確立のための研究開発



ふりこけサッサ すぎこけサッサ

原料となるスナゴケ、スギゴケ等を地産化するため、各種成長促進剤ごとに効果を検証しながら、苔を短期間で成長させる「繁殖サイクル技術」を開発しました。

この地産苔を製品化(ふりこけサッサ等)し、販売PRを行っています。

㈨ピックアロー[敦賀市] (R1.2新シーズ発掘)

○地域産業活性化分野

越前和紙「友禅柄」キューブメモの開発



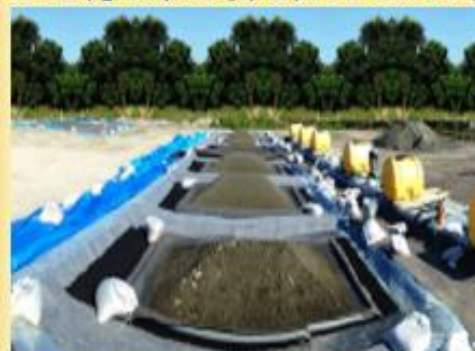
和紙の色味やインクの粘度、磨き精度を向上させ、6面全てに越前和紙(友禅柄)をプリントする技術を開発しました。←

今後は人気キャラクターを取り入れたキューブメモや和雑貨等、姉妹品も製作し、越前和紙のブランド性を高めていきます。←

若越印刷㈱[敦賀市] ←
 (H27.28.29モデル事業) ←

○環境分野

重金属汚染土壌の有害イオン吸着シートの開発



トンネル工事等で発生した土を仮置きする際、盛土下部にシートを敷設することで、浸出水に含まれる自然由来重金属イオンを吸着する「吸着シート」を開発しました。←

建設現場の残土や工場排水などによる土壌・地下水の汚染を抑制します。←

東洋紡㈱[敦賀市] ←
 (H28.29モデル事業) ←

2. 各補助金制度の概要(その3)

(3)エネルギー研究成果等販路開拓支援事業補助金	
対象分野	<ul style="list-style-type: none"> ①原子力・エネルギー分野（廃止措置関連含む） ②地域産業活性化分野（農林水産物、鉱工業品等の地域資源活用関連） ③環境分野（温暖化ガスの削減、廃棄物の低減・リサイクル推進、環境保全関連） ④植物工場・施設園芸分野（新品種の開発、センシング機器や収穫ロボット等に係る技術） ⑤防災分野（熱中症対策、自然災害の予兆を監視する技術や避難所で役立つグッズの開発）
対象事業	<p>展示会出展などの販路開拓 新商品の広報宣伝活動</p>
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ①「新産業創出シーズ発掘事業」により製品等を開発した企業 ②「嶺南地域新産業創出モデル事業」により製品等を開発した企業 ③電力事業者や若狭湾エネルギー研究センターとの共同研究にて製品等を開発した企業 ④県（原子力安全対策課）が開催した「廃炉業務評価委員会」において、廃炉業務で活用可能と評価された製品等を開発した企業
補助限度額	1件あたり200万円
補助率	2分の1以内（嶺北・嶺南企業共通）
補助対象経費	旅費、専門家謝金、会場整備費、サンプル製作費、広告宣伝費、ホームページ制作費 等
募集時期	毎年4月上旬頃（予定）
補助事業の実施期間	同一テーマで最長2年まで補助（ただし審査は毎年度実施）

詳細は、若狭湾エネルギー研究センターのホームページをご覧ください。

<http://www.werc.or.jp/>



<補助金制度 お問い合わせ先>

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター 産業育成部

TEL:0770-24-7276

FAX:0770-24-7275

Mail: sangyo@werc.or.jp